C666-1

305512

□要

□明

C666-1□胞株は鼻咽頭がん（NPC）由来のものであり、□胞内にエプスタイン・バーウイルス（EBV）を一貫して保持しているという点で独特です。この特徴により、C666-1はEBV関連NPCの研究において極めて重要なモデルとなっています。これは、NPC症例、特に東南アジアの患者においてEBV感染が広く見られるためです。この□胞株は、もともと中国南部の出身の患者から採取された未分化なNPC腫瘍の異種移植片から樹立されました。 C666-1 □胞は、NPC の病因および腫瘍の進行に関与するとされる EBNA1、LMP1、LMP2 などのウイルスタンパク質の発現を含め、EBV 潜伏 II 型のパターンを示します。これらの□胞は、免疫不全マウスに移植すると腫瘍を形成し、接触抑制を伴わない付着培養として増殖するため、その侵攻性の高いがん表現型を示している。

C666-1 を用いた研究により、NPC における EBV の役割、特に発がんを促進するウイルスタンパク質の機能が明らかになりました。 LMP1 などの EBV 潜伏期タンパク質を、RNA を切断する DNA 酵素や阻害剤で標的とすることで、C666-1 □胞の腫瘍増殖を抑制し、増殖を減少させ、アポトーシスを誘導できることが研究により示されています。さらに、ノビレチンや、□胞経路（PARP-2/SIRT1/AMPK および STAT3 シグナル伝達など）を標的とする miRNA 阻害剤などの化合物は、□胞増殖を抑制し、アポトーシスを促進することで、治療上の有効性を示しています。これらの知見は、NPC における EBV 関連の分子メカニズムを特異的に標的とする治療法を開発するための研究モデルとして、C666-1 の有用性を裏付けています。

C666-1 □胞は、腫瘍生物学に対する EBV の影響を理解し、EBV によって駆動されるシグナル伝達経路を標的とする抗ウイルス療法および抗がん療法を評価するための、貴重な in vitro および in vivo システムとして機能します。この□胞株は、EBVがコードするRNA（EBER）、シトケラチンなどの上皮マーカー、および NPCに特徴的な遺伝的変異を安定的に発現しており、NPC治療におけるトランスレーショナルリサーチの重要性をさらに高めています。

ティッシュ	鼻咽頭
病気	鼻咽頭がん

同義語

- c666-1
- C6661

分類

生物	人間
セックス	男性
バイオセーフティレベル	2

識別子

引用

C666-1（Cytionカタログ番号 305512）

NCBI 納税者番号	9606
セロサウルス	CVCL_7949

発現と感受性

ウイルス

形質転換体EBV

取り扱いと飼育

培地

RPMI1640、w：2.0mM安定グルタミン、w：2.0g/L NaHCO3（Cytion article number 820700a）

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

培養雰囲気	37℃ ′ 5%CO2、加湿雰囲気。

サプリメント

培地に10% FBSを加える

解凍と培養

Confirm that the vial remains deeply frozen upon delivery, as cells are shipped on dry ice to maintain optimal temperatures during transit.
Upon receipt, either store the cryovial immediately at temperatures below -150°C to ensure the preservation of cellular integrity, or proceed to step 3 if immediate culturing is required.
For immediate culturing, swiftly thaw the vial by immersing it in a 37°C water bath with clean water and an antimicrobial agent, agitating gently for 40-60 seconds until a small ice clump remains.
Perform all subsequent steps under sterile conditions in a flow hood, disinfecting the cryovial with 70% ethanol before opening.
Carefully open the disinfected vial and transfer the cell suspension into a 15 ml centrifuge tube containing 8 ml of room-temperature culture medium, mixing gently.
Centrifuge the mixture at 300 x g for 3 minutes to separate the cells and carefully discard the supernatant containing residual freezing medium.
Gently resuspend the cell pellet in 10 ml of fresh culture medium. For adherent cells, divide the suspension between two T25 culture flasks; for suspension cultures, transfer all the medium into one T25 flask to promote effective cell interaction and growth.
Adhere to established subculture protocols for continued growth and maintenance of the cell line, ensuring reliable experimental outcomes.

品質管理と凍結保存

無菌性

マイコプラズマ汚染は、PCRベースのアッセイと発光ベースのマイコプラズマ検出法の両方を用いて除外される。
□菌、真菌、酵母のコンタミネーションがないことを確認するため、 □胞培養物は毎日目視検査が行われる。

凍結培地	凍結保存培地としては、融解後の生存率を十分に高めるために完全増殖培地（ FBSを含む）＋10%DMSO、または回復を促進し凍結によるストレスを軽減するために最適化された浸透保護剤と代謝安定剤を含む CM-1（Cytionカタログ番号800100）を使用している。

保管条件

長期保存の場合、バイアルを-150～-196℃の気相液体窒素に入れる。80℃での保存は、液体窒素に移す前の短い暫定措置としてのみ許容される。

配送条件

凍結保存された□胞株は、輸送中約-78℃を維持するのに十分な保冷剤とともに、有効な断熱包装でドライアイスとともに輸送される。受領後、直ちに容器を検査し、遅滞なくバイアルを適切な保管場所に移してください。

寄付者

ドナーの年齢	特定せず
民族	中国語

法務・安全

安全上の注意事項

将来の融解のためにクライオバイアルを液体窒素に保存する場合、厳格な安全対策を遵守することが必須である。適切な保護手袋と保護衣は不可欠であり、液体窒素タンクへの凍結サンプルの移動中または液体窒素タンクからの凍結サンプルの移動中には、フェイスマスクまたは安全ゴーグルの使用が義務付けられている。これは、凍結試料を取り出す際に、凍結試料が爆発し、鋭利な破片が飛び散って怪我をするリスクを軽減するためである。

保証

サイシオンは、製品の品質と生存率を保証します。
当社では、培養を開始した時点で、当社施設からの出荷後 60日間、□胞が生存可能であることを保証しています。
すべての材料が、分析証明書および／または製品シートに記載された仕様に適合していることを保証します。
詳□については、<a href=""/Who-we-are/Warranty/"" hreflang=""x-default"">Warranty Statement をご参照ください。

物質移転契約書の締結が必要	Yes

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB